

寺田寅吉 ドイツ語翻訳者、統計学者。嘉永六年六月十一日江戸

四ツ谷生れ、大正十年十月十一日没（一八三一—一九二）。幼名、一郎。幕末
蘭学の文男。文久、一年向平坂學問所に入り漢學を學ぶ。慶應四年彰義
隊に加入し、尊古と改名。明治四年大學南校、東京開成學校でドイツ
學、鑛山學を修む。八年上部省雇ドイツ人ビアンキの就き便し鑛山學
を卒す。十一年太政官出仕、十四年統計院に轉じ、翌年專修學校で統
計學を教授。その後、共立流形學校教員、獨逸勵金會教員、文部省御用
掛、東京外國語學校教員、第一高等學校教員、東京高等商業學校校長
等歴任。二十八年精華學校、次で九段精華高等女學校を創立して校長
となる。

著書、『^英中對小字彙』（保志虎吉共編、明治二十六年九月）、『^英中對
同館』、『寺田寅吉経済談』（大正八年五月五日精華學校）等。

